事業所名: ウェルえがお

目標達成計画

作成日 : 平成 22年 9月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り 組む具体的な計画を記入します。

【目標	【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況 <u>(任意)</u>	
1	3	運営推進会議のマンネリ化	運営推進会議を上手〈活用し、サービスの質 の向上に繋げる	他ホームが取り組んでいる工夫等、実現可能なものを取り入れていく。会議の参加者を主任クラスだけでなく、一般のスタッフにも参加して貰う。 消防や警察員等の参加依頼の検討。	10 か月	ミーティングや運営推進会議等で、これから取り組んでいく内容について話し合った	
2	6	運営に関する意見の反映	運営に関する意見等を引き出せる様、工夫す る	上記運営推進会議に多〈の家族が参加して貰え る様、工夫する。	6 か月	運営推進会議は基本的に平日に 行われるので、多くの家族に都合 を合わせて参加して貰うのは難し いのではとの意見が出た。又、意 見を引き出す工夫として、家族と の更なる信頼関係を築く為の色々 な意見をスタッフから聞く事が出来	
3	7	運営に関する職員意見の反映	運営に関する職員の意見を引き出せる様、工 夫する	各ユニットのミーティングに代表者等が参加し、 現場のスタッフが直面している課題等を直に把 握する。又、個人的な面談の検討	6 か月	評価後すぐにミーティングを行ったが、スタッフからは、他の事業所と比較しても意見や要望を言い易い雰囲気だと思うとの意見があり、何故その様な評価になったのかわからないと言っていた	
4					か月		
5					か月		

事業所名: ウェルえがお

作成日: 平成 22年 9月 30日

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】						
	実施段階	取り組んだ内容				
- CAUCTAFE		(該当するものすべてに 印)				
1	サービス評価の事前準備	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った				
		利用者へサービス評価について説明した				
		利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした				
		運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した				
		その他(
2	自己評価の実施	自己評価を職員全員が実施した				
		前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った				
		自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った				
		評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った				
		その他(
	外部評価(訪問調査当日) - -	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった				
3		評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた				
		対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た				
		その他()				
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開 - -	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った				
		利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った				
		評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った				
		運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った				
		その他(
5	サービス評価の活用	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した				
		「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)				
		「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)				
		「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)				
		その他(